

**製品名: BRAF マウスモノクローナル抗体**

**カタログ番号: AMM82702**

研究使用のみ

## 概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ELISA,FC
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	84.4kda

## 抗原情報

遺伝子名	BRAF
別名	NS7; B-raf; BRAF1; RAFB1; B-RAF1
遺伝子 ID	673.0
SwissProt ID	P15056
免疫原	HEK293-6e で発現したヒト BRAF (AA: 299-447) の精製された組み換え断片。

## 背景

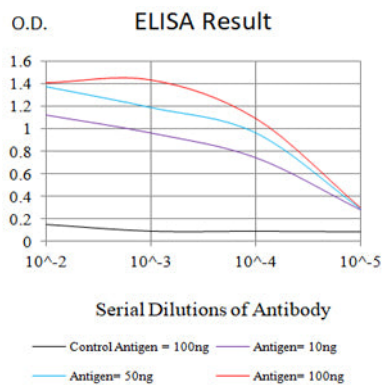
この遺伝子は、セリン/スレオニンプロテインキナーゼの RAF ファミリーに属するタンパク質をコードしています。このタンパク質は、細胞分裂、分化、分泌に影響を与える MAP キナーゼ / ERK シグナル伝達経路の制御に関与しています。この遺伝子の変異、特に

V600E 変異は、メラノーマにおいて最も頻繁に同定される発癌性変異であり、非ホジキンリンパ腫、大腸がん、甲状腺がん、非小細胞肺癌、ヘアリー細胞白血病、肺腺がんなど、様々ながんにおいても同定されています。この遺伝子の変異は、重複した表現型を示す心筋皮膚症候群、ヌーナン症候群、コステロ症候群にも関連しています。この遺伝子の偽遺伝子が X 染色体上に同定されています。[RefSeq 提供、2017 年 8 月]

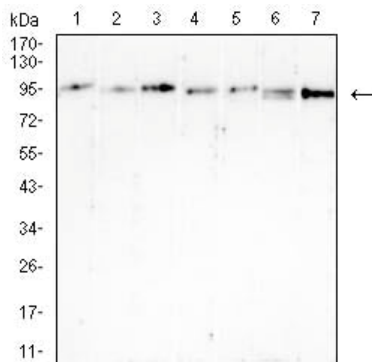
## 研究分野

MAPK シグナル伝達経路

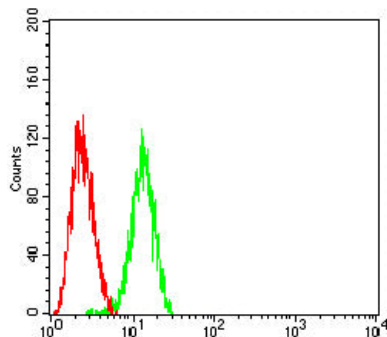
## 画像データ



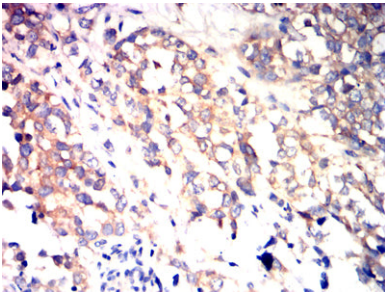
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



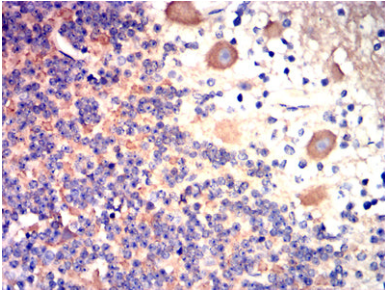
Hela (1)、HT-29 (2)、MOLT4 (3)、T47D (4)、HePG2 (5)、HL-60 (6)、PC-12 (7) 細胞溶解物に対する BRAF マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



BRAF マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した BEL-7402 細胞のフローサイトメトリー分析。



DAB 染色を伴う BRAF マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト膀胱癌組織の免疫組織化学分析。



DAB 染色を伴う BRAF マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト小脳組織の免疫組織化学分析。